

結城農業かわら版

第168号

令和7年2月20日

発行元：結城地域農業改良普及センター

TEL：0296-48-0184

FAX：0296-48-2682



QRコードから
HPにアクセス

令和6年度結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会

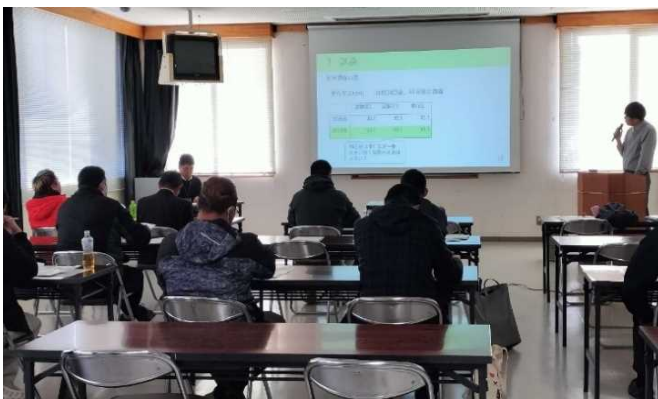
1月28日(火)、当普及センターでは、令和6年度結城地域農村青少年プロジェクト実績発表会を開催しました。発表会は結城地域アグリ講座の一環として取り組んでおり、受講生7名と農業経営士、青年農業士が参加しました。

はじめに、結城市農村青少年クラブの代表者が、今年度取り組んだ共同プロジェクト「トウモロコシ栽培における亜リン酸液肥施用の効果」と題し、亜リン酸を施用した時の増収効果について発表しました。試験の結果、無施用区と比べて施用区の収量が13%増加しました。今回の結果を踏まえ来年度も試験を行い、亜リン酸の効果を実証したいと語りました。

次に、結城市の有限会社菅井ファーム代表取締役で県農業経営士の菅井好氏が「私の農業経営」と題し講演を行いました。自身の半生を振り返りながら、どのようにして今の農業経営に至ったのか、また「夢をもって農業に取り組むことが大切だ」と話し、常に意欲をもって活動する重要性を強く語っていただきました。

受講生は真剣に話を聞き、メモをとるなど、積極的な様子が伺えました。また「今後の営農に活用できる内容があった」など受講生から意欲的な意見もあがりました。

普及センターでは、次年度も管内の若手農業者を支援していきます。



亜リン酸施用の効果について説明するクラブ員



自身の経営概要を説明する菅井代表取締役

部会員と市場関係者が秋冬ハクサイの規格を確認



1月14日(火)、JA常総ひかり八千代集荷所において、秋冬白菜中間目揃え会が開催され、ハクサイ部会員約30名が出席しました。

会では、猪瀬部会長から「現在出荷している白菜は、防寒対策のため頭を縛った結束もので出荷に手間もかかっている。各自しっかりと目を揃えて品質を維持してほしい」との挨拶がありました。

今年度は猛暑、残暑などの影響を受け、栽培には苦労が見られましたが、参加者からは「例年の今の時期に比べて内部の黄色が鮮やか」との意見が寄せられました。部会員は出荷時の量目、内部品質等についてしっかり確認を行いました。

普及センターからは、白菜の本年の概況と今後の注意点について資料に基づく情報提供を行いました。

普及センターは今後も良品生産の支援に取り組んでいきます。

出荷の際の注意点を確認する部会員

加工トマトの増収に向けた管理方法を学ぶ

1月10日(金)、JA常総ひかり八千代支店において、ジュース用加工トマトの栽培講習会が開催され、加工トマト部会員20名が参加しました。

部会では令和7年産加工トマトの収量目標としている8.2t/10aに向けた肥培管理について講習がありました。

部会長からは「今年も夏場の猛暑が予想されるが、昨年同様に増収に向けた作付けの協力をお願いしたい。」と挨拶がありました。

講習では、メーカー担当者からは病害虫対策、栽培方法など次年度の栽培方針について説明がありました。

普及センターからは、今年度実施した高温対策試験の結果として、遮光による高温障害果実発生抑制効果について報告しました。

普及センターでは、今後も加工トマトの収量を増やし、品質を向上させるために、栽培技術改善の課題に取り組みます。



肥培管理の説明を受ける部会員

女性農業士会が視察研修を開催

1月21日(火)、結城地域女性農業士会の視察研修が開催され、笠間市にある株式会社アドバンフォースが運営する「kasamarron café」を訪問しました。

まず株式会社の概要説明を受け、クリの6次産業化や農福連携の取り組みについて学び、地域活性化への工夫にも触れられる貴重な機会となりました。

その後、施設内を案内していただき、クリの加工場や収穫機などを見学しました。クリの収穫から加工までの流れや使用する機械について詳しい説明を受け、参加者からは加工方法や農福連携における課題について積極的な質問があがり、活発な意見交換が行われました。

今回の視察研修を通じて、新たな知識や視点を得るとともに、参加者同士の交流も深まる有意義な時間となりました。

普及センターでは、今後も女性農業者の活動活性化に向けた支援をしていきます。



株式会社アドバンフォースの説明を聞く女性農業士



クリの6次産業化を視察する様子

農業機械の点検整備を行いましょう

3月から全国的に農繁期に入り、乗用型トラクター等が広く使用されます。同時に、農業機械の転落・転倒事故が発生しやすくなります。

作業が忙しくなる前に、倉庫内の整理整頓、農業機械の点検整備、作業場の安全確保、ほ場周辺の危険個所の確認など、余裕をもってしっかり準備しましょう。

